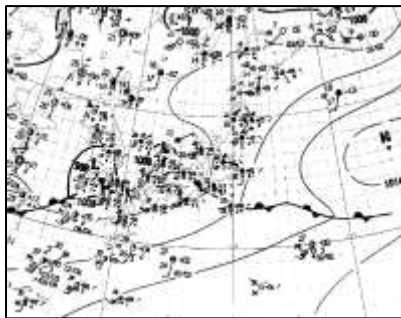


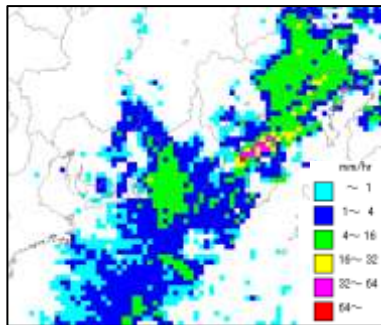
1991年 7月3日～5日 日本海低気圧

1. 気象経過

4日21時には、停滞前線上にある低気圧が日本海と朝鮮半島付近にあり、日本海にある低気圧は発達しながら東北東に進んでいた。前線は、若狭湾から伊勢湾をとおり、東海沖へと伸びていた。停滞前線は、5日0時前後に県内を北上していき、沿岸部より暖域場(前線南側の暖気)に入った。前線近傍では、大気の状態が不安定となり、所々で雷を伴った激しい雨となった。特に、暖気と冷気の境界を顕在化しやすい(局地的な前線の発生しやすい領域)では、一時的に前線の移動が遅くなり、東部では非常に激しい雨となった。



1991年7月4日21時
地上天気図



1991年7月5日7時0分
気象レーダー

2. 大雨の原因、特徴

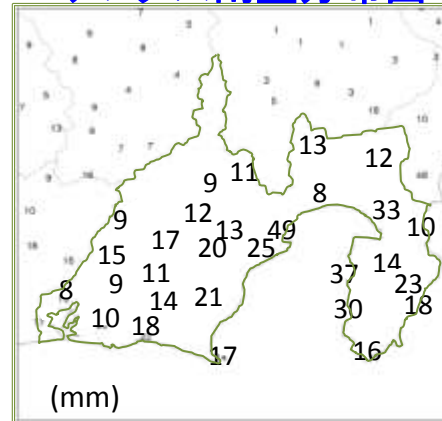
停滞前線近傍の不安定場における大雨であり、ある程度大雨は予想できる。その中でも雨量が多くなる場合は、局地的な要因が重なるため、直前の実況が重要となる。特に静岡県の特性である局地的な前線の発生領域では注意が必要である。

3. 被害概要

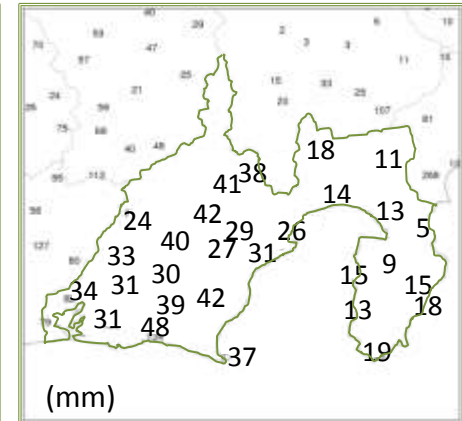
	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 損壊 (棟)	死者 不明 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	倒壊 の 数 (カ所)	倒壊 の 数 (カ所)	河川 の 断 崖 (カ所)	道路 の 断 崖 (カ所)	鉄道 不通 の 区 間 (km)
全県	4	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
東部	4	62	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-

被害数は、静岡県 平成3年における災害の状況による

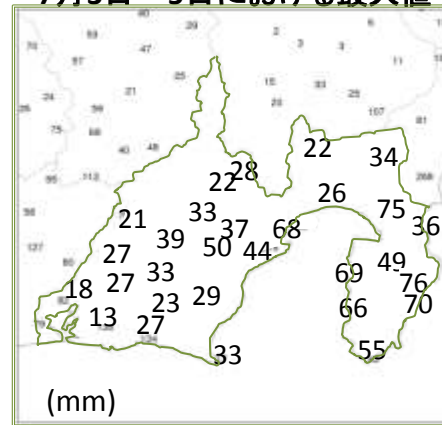
4. アメダス雨量分布図



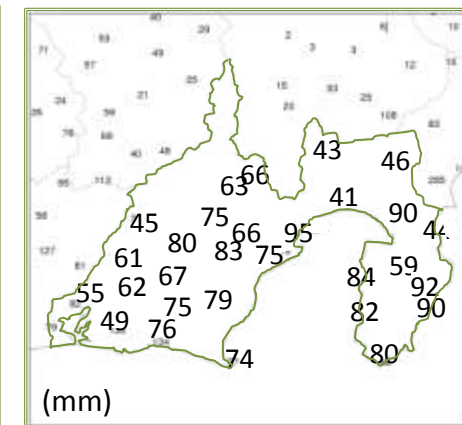
アメダス1時間雨量(正時毎)
7月3日～5日における最大値



アメダス日雨量 7月4日

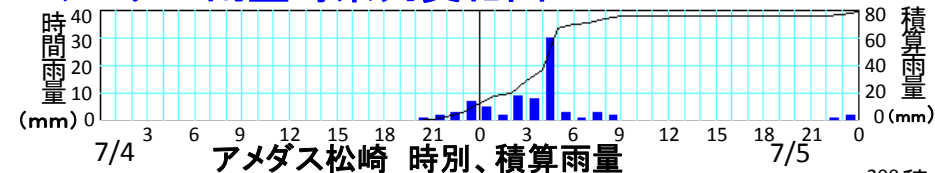


アメダス日雨量 7月5日

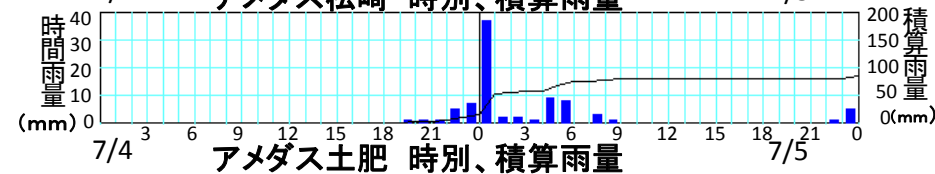


アメダス 3日間雨量7月3日～5日

5. アメダス雨量時系列変化図 ■ 時間雨量 — 積算雨量



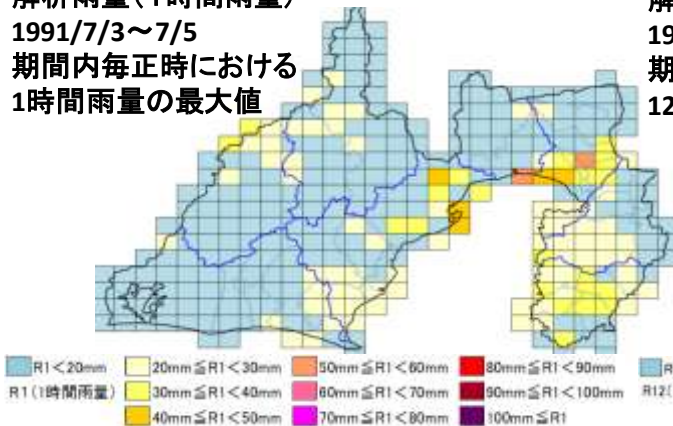
アメダス松崎 時別、積算雨量



アメダス土肥 時別、積算雨量

6. 解析雨量分布図

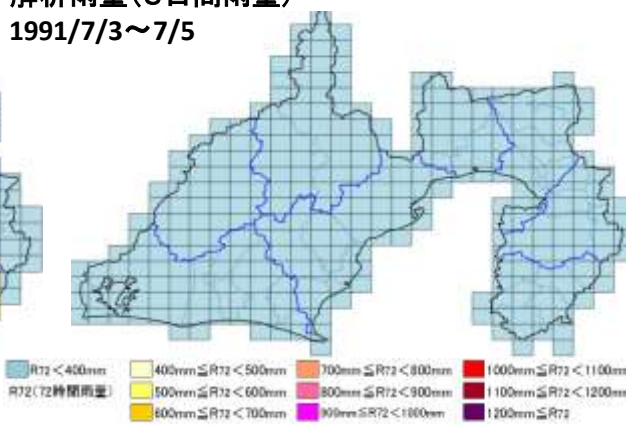
解析雨量(1時間雨量)
1991/7/3~7/5
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



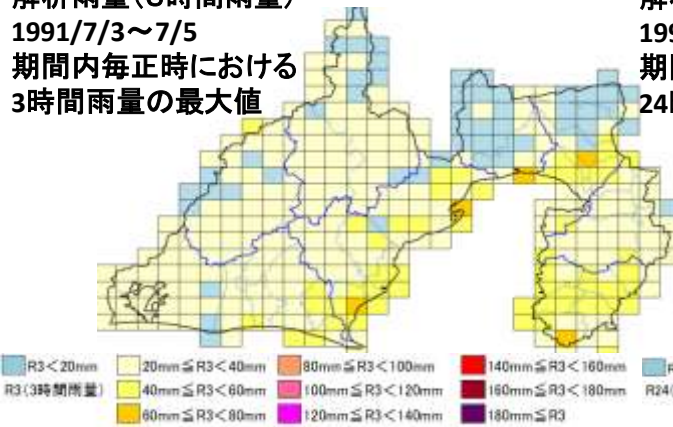
解析雨量(12時間雨量)
1991/7/3~7/5
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



解析雨量(3日間雨量)
1991/7/3~7/5



解析雨量(3時間雨量)
1991/7/3~7/5
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



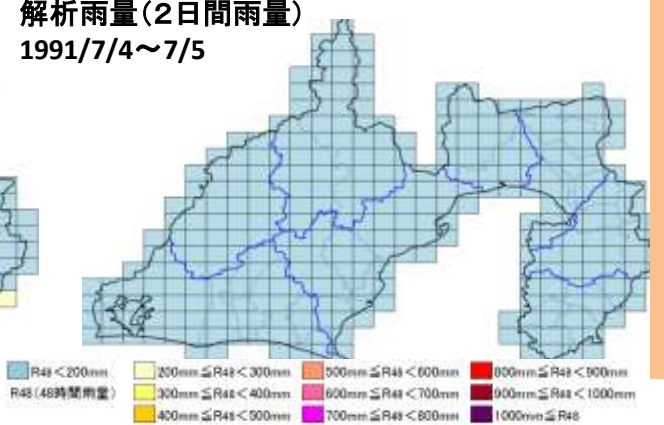
解析雨量(24時間雨量)
1991/7/3~7/5
期間内毎正時における
24時間雨量の最大値



解析雨量(6時間雨量)
1991/7/3~7/5
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
1991/7/4~7/5



7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

県内全域が非常に不安定となっており、その中で、局地的に大雨となる地域を何時間も前から予想することは難しい。結果的には、静岡県の特性である局地的な前線発生領域のごく一部で大雨となったが、その他の地域でも大雨となる可能性はあり、類似例では注意する必要がある。